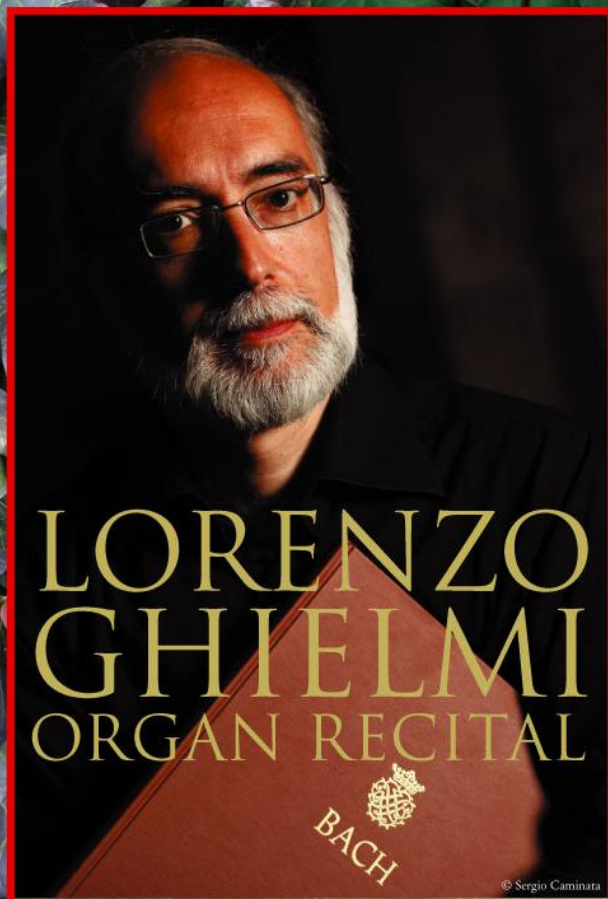


ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル



J.S. BACH

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ:

前奏曲、ラルゴとフーガ ハ長調

BWV545, 529/2

装うべし、おお愛する魂よ BWV654
(18のコラール集より)

協奏曲 ニ短調 BWV974
(マルチェッロ:オーボエ協奏曲
ニ短調 オルガン編曲)

トリオ〈主イエス・キリストよ、
われらに眼を向けたまえ〉

BWV655(18のコラール集より)

来たれ、創り主にして聖霊なる神よ
BWV667(18のコラール集より)

協奏曲 イ短調 BWV593
(ヴィヴァルディ:合奏協奏曲
〈調和の靈感〉作品3の8
オルガン編曲)

いざ来たれ、異教徒の救い主よ
BWV659(18のコラール集より)

目覚めよと呼ぶ声あり BWV645
(シューブラー・コラール集より)

心よりわれは求めん BWV727

前奏曲とフーガ イ短調 BWV543

歓び、脈動するバッハ



2016年

2月3日[水]

18:30開場・19:00開演

会場:

水戸芸術館 エントランスホール

※公演中はエントランスホール・ラウンジ 側扉から
のみご入場となります。

料金(全席指定):

A席3,000円・B席2,000円・

ユース(25歳以下)1,000円

※ユースチケットの取り扱いの水戸芸術館のみ。

◎チケット発売:

2015年10月31日[土]

財団運営維持会員先行予約:

10月27日[火]※電話予約のみ

友の会(一般、法人)会員先行予約:

10月28日[水]※電話・web(要登録)予約のみ

主催:

公益財団法人 水戸市芸術振興財団

この人にしか作り出せない独特な音色の配合。

巧みな足さばきが形づくる流麗な低音部。

驚くべき速さで動きまわる十本の指。

バロック音楽の巨星ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685～1750) の生前、ある詩人は、オルガンを演奏するバッハを見て、こう評したそうです。「鍵盤の上に奇蹟をつくる人」と。

バッハ解釈の第一人者として知られるオルガニスト、ロレンツォ・ギエルミの演奏を聴くとき、記録に残されたバッハの演奏が、あたかも目の前に現れたかのような感覚に、とらわれるかもしれません。入念に選り出された音色。キレのあるパッセージ。それらはまさにバッハの演奏の特徴であり、学術的な知見に裏付けられた説得力のある演奏解釈が、その鮮烈な印象をさらに深めています。しかもそれでいて、響きの奥には、イタリア生まれのギエルミらしい、自由闊達な“歌”が、とても純粋な“音楽の歓び”が、聴こえることでしょう。その至高のオルガン演奏を、水戸芸術館エントランスホールの豊かな響きのなかで楽しみいただけるコンサートが、ついに実現します。

オール・バッハ・プログラムとなる今回のリサイタルの中核には、バッハがオルガン用に編曲したイタリア・バロックの協奏曲が据えられました。原曲はマルチェッロ、そしてヴィヴァルディ。ギエルミの弾くオルガンでこれらの作品を聴けば、バッハの心に湧き起こったであろう“音楽の歓び”が、きっと私たちにも感じられるはずです。そして、この純粋な“歓び”は、バッハの奇蹟のようなコーラルやフーガの傑作のなかにも、燦然と輝いているのです。

名手ギエルミが芽吹かせる“音楽の歓び”。冬が終わり、春の始まる日、2月3日に、どうぞご堪能ください。

写真：水戸芸術館パイプオルガンの内部



LORENZO GHIELMI ORGAN RECITAL

ロレンツォ・ギエルミ (オルガン)

Lorenzo Ghielmi, Organ

イタリアを代表するオルガニスト、チェンバリスト、フォルテピアニスト、指揮者。ルネサンスとバロック音楽の演奏家、研究家。ヨーロッパ、日本、アメリカなどで幅広くコンサートや、レコーディングを行う。ドイツ・ハルモニア・ムンディ、ウィンター＆ウィンター、アルス・ムジチなどからCDを数多くリリース。16～17世紀におけるオルガン芸術、バッハの作品解釈の研究にも熱心である。現在、ミラノの聖シンプリチアーノ教会のオルガニスト、ミラノ国際音楽アカデミーの古楽研究所でオルガン、チェンバロそして室内楽の教鞭を執っている。2006年からは、パーゼルのスコラ・カントールムの教授も務める。また、世界中の著名なオルガン・コンクール審査員として、またマスタークラスの講師として招聘されている。05年には、自身のグループ“ラ・ディヴィナ・アルモニア”を結成し、ヘンデルのオルガン協奏曲第1集（フランスの音楽専門誌『ディアパゾン』にてディアパゾン賞を受賞）などを録音している。東京カテドラル聖マリア大聖堂のオルガン建設のための芸術コンサルタントを務め、その様子は、04年NHKハイビジョン特集「パイプオルガン誕生」で紹介された。



バッハが描いたとされる印章の図案。イニシャルのJSBとその鏡像文字が蔓草のように重なり合う様は、旋律が複雑にからみ合うバッハの音楽を象徴するかのようでもある。
(画像出典：Wikimedia Commons)

●チケットの取り扱い

水戸芸術館 (9:30～18:00/月曜休館)

エントランスホール内チケットカウンター

水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000

ウェブ予約 <http://arttowermito.or.jp/tickets/ticket.html>

e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

かわまた楽器店 029-226-0351

ヤマハミュージックリテイリング水戸店 029-244-6661

◎公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。

◎未就学児のご入場はご遠慮ください。

◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。

●ユースチケットについて (枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。



●交通ご案内：JR常磐線水戸駅北口より、バスターミナル4～7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。
水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063
TEL:029-227-8111 <http://arttowermito.or.jp/>